

脊椎(くび・せなか・こし)の手術を受けられるID: 様へ

発行日:1900/01/00

バスコード:09001/09002/09003/09004 世代:4

経過	入院	手術当日	術後1日目	術後2日目	術後3、4日目	術後7日目	術後11日目	術後12日～16日目退院
月日	/	/	/	/	/	/	/	/
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 体調のコントロールができる。 手術前後の流れについて理解できる。 必要物品の準備ができています。 	<ul style="list-style-type: none"> 痛みがなるべく少なく過ごせる。 床ずれが起きない。 合併症が起こらない。 	<ul style="list-style-type: none"> 痛みがなるべく少なく過ごせる。 車椅子・歩行器の移動方法を理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 痛みがなるべく少なく過ごせる。 歩行器歩行ができる。 介助のもとに装具を装着できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 痛みがなるべく少なく過ごせる。 合併症が起こらない。 感染を起こさず経過する。 	<ul style="list-style-type: none"> 痛みがなるべく少なく過ごせる。 装具を自分で装着できる。 (介助のもと)安全にシャワー浴をすることができる。 歩行器なしで歩行できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 感染を起こさず経過する。 痛みがなるべく少なく過ごせる。 階段昇降ができる。 入浴動作ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 退院後の注意点を理解できる。 退院
治療・薬剤(点滴・内服)・処置・リハビリ	<ul style="list-style-type: none"> 術前にリハビリがあります。 午前中の手術の場合、排便状況により手術前日の午後洗腸します。 午後手術の場合、手術前日の寝る前に下剤を内服します。 手術翌日に内服するお薬をセットします。 	<ul style="list-style-type: none"> 午後手術であれば、午前中に洗腸を行います。 指示された薬だけを少量の水で飲んで下さい。 内服する薬 () 麻酔のため食事をとれないので点滴を続けます。 抗生剤の点滴を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝からお薬が再開となります。(内服しない薬がある場合はお伝えします) お薬をご自身で管理していただけるか確認させていただきます。 食事が食べられるようになれば点滴が終わります。 抗生剤の点滴が6時・14時・22時にあります。 リハビリが開始されます。 	<ul style="list-style-type: none"> 傷の管が抜けます。 午後手術であれば、朝6時に抗生剤の点滴があります。 				
検査	採血があります。	手術後、採血があります。	採血があります。		採血があります。CT撮影があります。		採血・レントゲン撮影があります。	
安静度	痛みが強くない程度に移動して下さい。コルセットの装着が必要な方は採寸があります。	手術後はベッド上で安静です。(頭元を30度上げられます)手術後は介助にて横に向くことができます。	看護師介助のもと車椅子又は歩行ができます。(装具装着 要・不要)					
食事	内科的な病気のある方は特別食です。 手術前日夕食後から手術当日飲水終時間までの飲水量を計測してください。(おおよそ構いません)	当日朝から絶食です。 飲水は()時まで 手術後は腸の動きを確認してから飲水を始めます。	朝から食事が始まります。					
清潔	入浴して下さい。 介助が必要な方は、日時をお伝えします。爪切りできているか確認します。		身体拭きをさせていただきます。		身体拭きと洗髪をさせていただきます。	傷の確認後、シャワー浴が開始されます。動作に慣れるまでは、看護師の介助のもとでシャワー浴をしていただきます。入浴動作の練習をします。		
排泄		手術中に尿の管が入ります。排便は便器を使用します。	尿の管を抜きます。抜いた後は車椅子又は歩行器でトイレに行きます。					
患者様及びご家族への説明	入院日に医師から手術についての説明がある場合があります。ご家族お揃いでお待ちください。 準備しておく物 テープ式の紙オムツ1枚 先の曲がるストローとコップ ビニール袋2枚(寝衣と靴を入れます)	手術予定時間の30～60分前()に 家族の方は来棟して下さい。 傷の痛みが出ます。 痛みが強い場合は我慢せずに申し出て下さい。	便秘になりやすいため、水分をしっかりととりましょう。	オーバーテーブルを片づけさせていただきます。		リハビリの進行状況により、自宅退院からリハビリ転院が決められています。歩行できれば、弾性ストッキングを除去します。		退院後の生活の注意点について、パンフレットを用いて説明します。

この予定表は、病状にあわせて、その都度変更する場合がありますので、ご了承下さい。
主治医:

大阪南医療センター クリニカルバス委員会 2022/7/27承認